

## 2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	環境情報活用小委員会	主 査 名：横尾昇剛 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (環境設計運営委員会)	委員長名：持田灯 主 査 名：中島裕輔
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境情報と防災情報に関する包括的な取り扱いについての新たな知見の整理</li> <li>・ 企画, 設計, 運用の各プロセスを通じて, これまで扱われていなかった環境と防災情報のフレーム構築</li> <li>・ 当該分野の新たな研究課題の抽出と重要性を検討</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	横尾 昇剛 (宇都宮大学), 中島 裕輔 (工学院大学), 山田 貴宏 (BioForum 環境デザイン室), 岩田 三千 (摂南大学), 木村謙 (エーアンドエー), 高口 洋人 (早稲田大学), 堀 英祐 (近畿大学), 吉村 靖孝 (早稲田大学・吉村靖孝建築設計事務所), 藤原紀沙 (宇都宮大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2020 年度予算	150000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：作成中

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 環境・防災情報活用に関する研究事例を共有した 2. 環境・防災情報活用に関する開発事例を視察の準備を行なった。
委員会活動の問題点 ・課題	本年度は新型コロナ対応のため計画した活動や視察が十分に実施できず, 次年度体制を整え実施予定である。

## 2020 年度 小委員会活動 自己評価

### (最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	(B)	C	D
<p style="text-align: center;">総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>本小委員会では、建物及び建物内外に関わる情報全般を網羅的にレビューし、類型化した後、設計や建物運用、ステークホルダー間のコミュニケーションに活用出来る環境情報のフォーマット、IoT 化に対応した環境設計、建物運用の方法論をまとめ、設計ツールなどへの反映方策を検討を行った。</p> <p>また、環境情報に加え、環境と防災を包括的に取り扱う考え方を展開する準備として、復興地域の再開発事例についての視察を行い知見を整理した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見える化と環境情報・家歴情報</li> <li>・ 地域再創生と環境情報</li> <li>・ 建物の IoT 化動向 建物事例</li> <li>・ 不動産分野と環境情報</li> <li>・ BIM と環境情報</li> <li>・ 環境負荷情報 Embodied energy &amp; CO2</li> <li>・ 都市評価の環境情報</li> <li>・ 環境と防災を考慮した再開発</li> </ul>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。